

(道德通信) Heart to Heart

各を学ぶ時間の姿勢を聞き動き前級活動紹介のうか。徒徳や一部を紹介します。達やその他の道徳問題についても、ごとにいちばん大切な事柄を述べます。終了後は、お話をきいていたいと思います。

～1年生～
「重いす

あらすじ

ある日本人がイギリスに滞在し、会社に行こうとして困っている日本人と、車輪を落とす少年を助けようとする日本人の言葉が、どう思いかねないのか。。。支援を送り続けているのです。少年に声援をする姿、周りの人達が必死で少年に声援を送ります。少年が自力で溝から離れます。

生徒感想

- ・周りの人と一緒に声援を送ったときの主人公の気持ちは、本当は助けてあげたいけど、ここではこの少年が頑張って自分の力で上がってこないといけないと思つただろう。自分の力で頑張ってきて欲しい。このぐらいの事では助けはいらないのかなあ。人がいない所でもこの人は1人でやらないといけない。自分の力で喜んでほしい。
 - ・「サンキュー」と言って去つていった少年は、すぐに助けるんじゃなくて自分の近くでやらせててくれてありがとう。すぐ助けてくれようとした人もありがとう。自分で抜け出せる自信が持てたよという気持ちだったと思う。
 - ・「サンキュー」と言った少年は、みんなが応援してくれて嬉しかったと思う。応援のおかげで車いすを戻すのを頑張れたよって思ったと思う。

~2年生~

「バスと赤ちゃん」：テーマ…社会連帯・思いやり

あらすじ

生徒感想

- ・最後の拍手には、バスの中にいる全員の優しさ、思いなどが1つになって、込められていました。公共の場では、迷惑はダメだけど、いざとなつたときのこのバスの中にいる1人1人の優しさに感動しました。初めて会って知らなかつた人でも、1人の優しさがあれば、それが全員に伝わって、1つの温かな場となるんだなと思いました。人が優しさをもてば、必ずみんなが1つになって協力出来るということを学びました。
 - ・自分が良いと思ったのは、運転手さんの説得（？）もですが、「目的地はここですか」という言葉です。この運転手さんのとっさの機転がいいなと感じました。
この話の筆者が「心にしみる」としているのは、運転手や乗客全員の行動が心にしみたのだと思います。公共の場とは人が人を思いやる場なのかもしれないと思いました。
 - ・僕もこの前バスに乗った時、満員で前が見えませんでした。その時に運転手の人が一回曲がるたびに「左に曲がります。」「右に曲がります。」と僕や他の人達の事を考えて言つてくれました。だから公共の場では、相手の事も考えないとあらためて感じました。

~3年生~

「美しい母の顔」：テーマ・・・家族愛

あらすじ：M子の母には、右ほほ一面にただれたやけどの跡があります。M子は、そのやけどの跡が大嫌いで、友達に母を見られないように「学校に来ないでよ」と言い続け、母が自分の誕生日に友達を呼ぶようにすすめくれても、「恥ずかしくて友達なんか呼べないわ」と怒ります。ある日、M子が夜遅くまでかかってやり終えた宿題を忘れたので、母がわざわざ学校に届けてくれました。しかし、M子は「そんなお化けみたいな顔で来ないでよ」と怒鳴ってしまいます。気の重い1日を過ごし、家に帰ると父に呼ばれます。

今まで母はM子に自分のやけどはヤカンをひっくり返したからだと言っていましたが、実は隣家の火事が、M子の家にまで回り、母はM子を助けるために自分はやけどを負いながらも、M子がやけどをおわないようにかばって救い出したのだと父から聞かされます。その話を聞いて、M子は母の膝に飛びつき泣きじやくります。

今では、母のやけどの跡はM子にとっては、母からの愛のしるしであり、よそのどんなきれいな顔のお母さんより、自分の母を美しいと思っているのです。

生徒感想

- ・自分の子供を守るために親は何だってできるんだなと思った。

- ・ “美しい”で連想すると、私は夕日です。心が沈んでいても本当にきれいできれいで嫌なことも忘れてうぐらひの夕日はすごい力を持つてゐるなあって思う。海の夕日が一番心を動かすけれど、今日の話のようでもただ肉眼で見る「美しい」というのじゃなく“美しいな”と思う。ただ外だけじゃなく人に誇りに思つたり、思い出がそこに詰まつていたりしたら、もする。ただ外だけじゃなく人の“中”も大事やなあつて思つた。